

# 京都の歴史お詳しいどすなあ～

## In 東山(知恩院～清水寺)

活動日時： A…12月13日(土)

B…12月14日(日)

活動プログラム：

午前	集合・挨拶	おはようございます！！五月に実施した【ぶらぶら京都】第二弾として、今回は“東山”を歩くよ。歴史と自然が溢れる街を楽しもう！
	東山散策①	今回、エリアは五カ所あるよ。近くの知恩院や祇園から行こうかな？遠くの清水寺からにする？しっかり話し合っ決めていこう。各エリアにちなんだ問題があり、それを解いていくとゴールが分かる仕組みになっているよ。
午後	昼食	公園でお弁当を食べよう。食べながら午後からどこを回ろうか相談しよう。ゴールの場所はリーダーも知らないから、みんなで力を合わせないと辿り着けないよ。
	東山散策②	お小遣いをもらっているから、何に使うかもポイントだね。飲食に使うか、有料施設に使用するか、どうしようかな？問題を見ながら有効に利用しよう。昼以降、人も多くなってきたからはぐれないようにね。
	ゴール振り返り	ゴールと思われる場所に向かうとみんながいて、無事にゴールすることが出来たね。今日は沢山歩いたね。お疲れ様でした。どこを回り、何を見て知って、「へえ～」と思う事が出来たかな？思い出して、自分達の動きを振り返ろう。
	答え合わせ解散	各エリアで解いた問題の答え合わせをしよう。何問正解したかな？訪れた場所や歴史にちなんだ問題を通して、京都に詳しくなれたかな？また次の街をぶらぶらして、詳しくなろう。まったねえ～。



### <全体感想>

今回は「反応をしよう!」とスタートの際、皆さんにお伝えしました。少し昔の話になります。ある小学校の林間学校に引率で参加した際、その学年(単学級)の指導方針が、【納得しないなら返事をしなくても良い】というものでした。私は引率者なので、その指導に従いましたが、納得はしていませんでした。誰かが何かを発信した際、それに対して反応、返事(レスポンス)を示す事は、非常に大切であり、相手への礼節であると考えています。そして、反応を示す事で会話は増え、話は弾み、内容が高みへと上がります。昨今において、反応を示さない子ども達が増えつつあります。活動においても然りで、【しなくても良い】が当たり前となり、そうした判断をされぬよう、会話における反応の大切さを、しっかり伝えて参ります。

(竹中 哲郎)